

12月定例会

下水処理施設普及促進奨励金を増額 ～粕毛地区下水道加入順調に推移～

平成23年度12月定例議会が12月13日から16日までの4日間にわたり開催され、災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正や一般会計補正予算など上程された14案件について原案どおり可決されました。



行政報告

◇秋田県自治功労者表彰について

本年8月に勇退されるまで、4期16年間に渡り、藤里町町長を務めていただきました、石岡鍊一郎氏が、去る11月2日秋田市において、秋田県地方自治功労者

として受賞されました。石岡さんは、常に町民の目線に立ち、生活の向上を第一に数々の施策を講じられ、町の発展のためにご尽力されました。これまでの、たゆみない御精進と町政発展への多大な貢献に対し、心からの経緯を表しお祝いを申し上げます。

◇町民会議の要望事項について

町民会議については、町民の代表である議会の皆様の活動の一環として行われてきましたが、町としても町民の要望としてこれを受け止め、要望事項については、できるだけ対応したいと考えています。財政上の問題もあり、すべての事項に対応することは困難かと思いますが、現状をよく精査したうえで、可能なものについては平成24年度予算に計上したいと考えています。

◇高齢者等宅・除排雪事業

これまでは、高齢者等の冬期間の安全確保と生活の安定を図るため、独力で除雪が困難な高齢者や障害のある方のみの世帯を対象に、玄関前から道路までの除排雪事業を実施していますが、雪が多い年には屋根の雪下ろしに関する要望や問い合わせも多いことを踏まえ、このような方々の更なる安全確保を図る観点から、従来の事業に屋根の雪下ろし事業を追加し、今冬から対応したいと考えています。

◇平成23年度産米の集荷状況

J Aあきた白神藤里営農センターの12月6日現在における集荷実績によると、30kg単位での予約数量80,116個に対し、集荷数量は74,311個(集荷率92.8%)となっています。天候は比較的安定していましたが、昼夜の温度差が無かったことから、茎数が少なく、作柄の平均は、10a当り8.98俵、品質に関してはあきたこまちの1等米比率が、90.7%、めんこいが94.7%、全体では、91.0%(90.1)と、昨年より

やや高くなっていますが、能代山本地区の平均96.4%より、5%程低くなっています。原因は、春先の低温により出穂期がばらつき、これまで被害のなかった地区でのカメムシの発生と、ゆめおぼこの未登熟による、品質低下が大きな原因となっています。

生産調整の実施状況は、「農業者戸別所得補償制度」の岩盤部分、65,700,000円、転作部分(120ha分)、46,827,500円、併せて112,527,500円の農家への支払いを11月21日に終えています。

◇平成24年度産米の需要量

12月1日に国から都道府県別の生産目標数量が公表されました。国の24年度産米の生産目標数量は、今年の目標数量により2万t少ない、793万tとなりましたが、作付面積は、昨年と同じく150万haとなっています。秋田県は今年、▲4.6%の大幅な削減が行われましたが、24年度産米の生産目標数量は、昨年より3,220t増えて、443,640tとなりました。作付面積は、77,420haとなり、昨年を560ha上回っています。なお、国からの配分は増えることになりましたが、県の格差縮小に係る取り決めにより、町への生産目標数量は、4ha程減になると思われます。各市町村への配分は、12月27日に示されることになっていますので、藤里町水田農業推進協議会で配分方針を協議、検討し、同協議会の総会において決定することになります。